

IV 調査結果の詳細

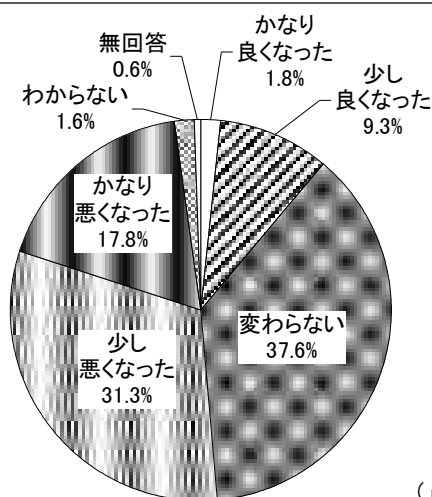
1 暮らしの変化について

(1) 暮らしの変化

問1 あなたの暮らしは、この5～6年の間にどう変わりましたか。次の中から1つ選んでください。

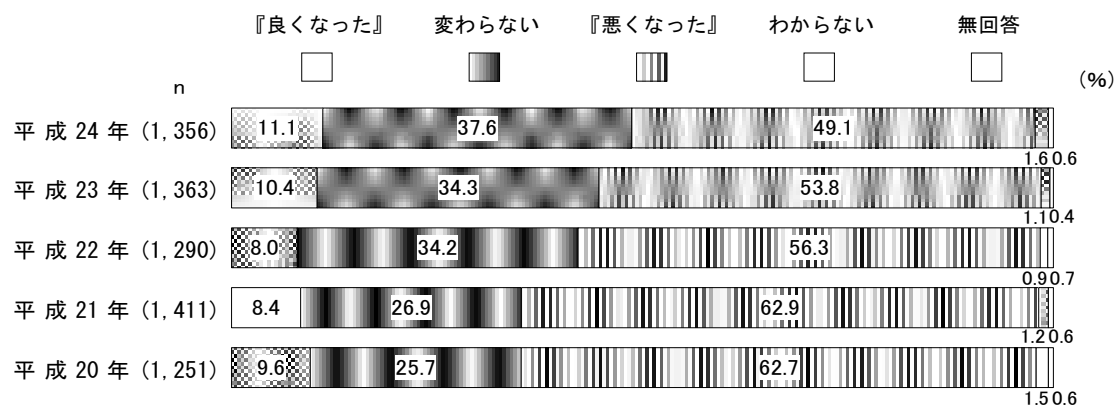
[n=1,356]

1	かなり良くなった	1.8%	4	少し悪くなった	31.3%
2	少し良くなった	9.3	5	かなり悪くなった	17.8
3	変わらない	37.6	6	わからない	1.6
			(無回答)		0.6



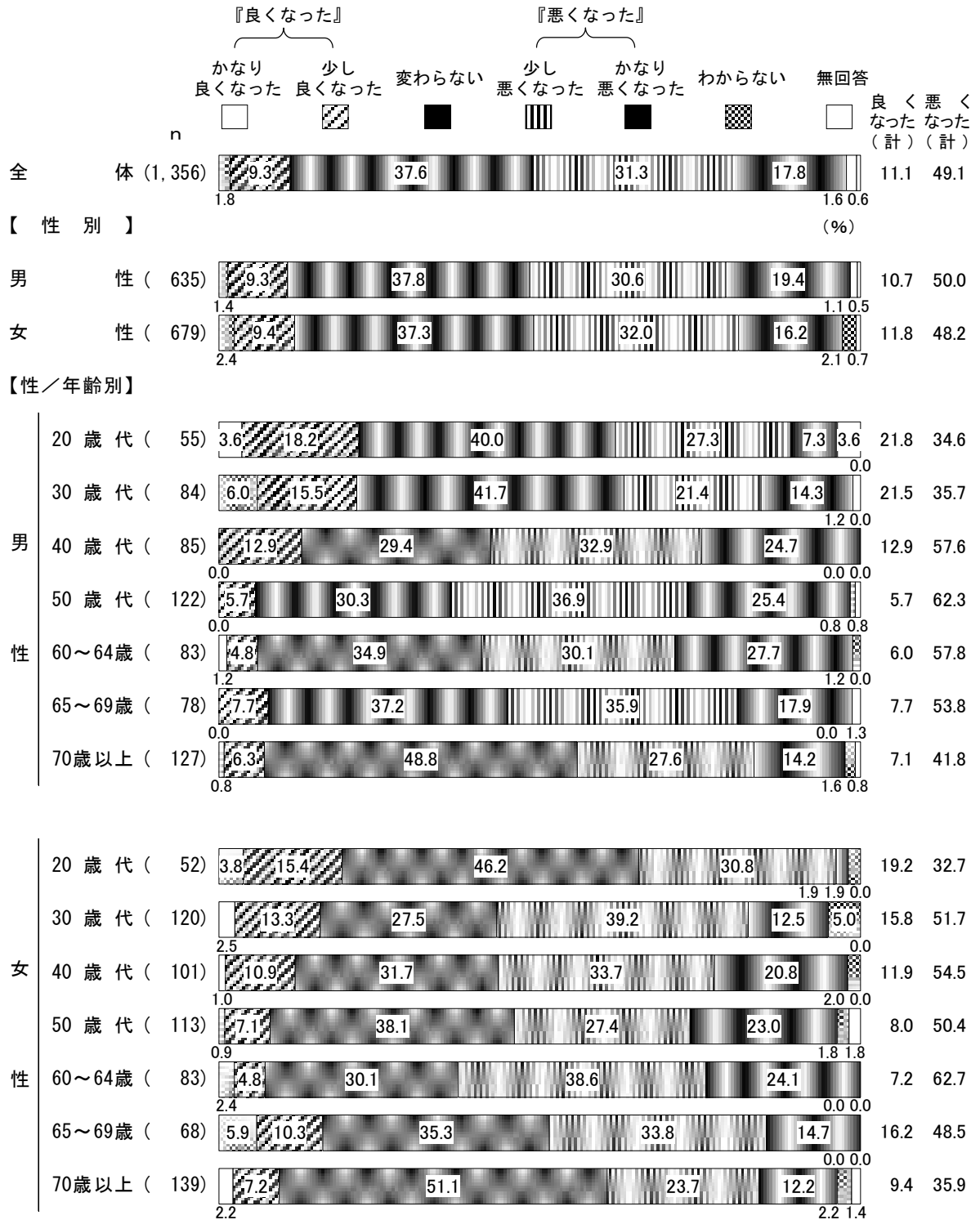
(n=1,356)

全体で見ると、「かなり良くなった」(1.8%)と「少し良くなった」(9.3%)の2つを合わせた『良くなった』(11.1%)は1割を超えている。一方、「少し悪くなった」(31.3%)と「かなり悪くなった」(17.8%)の2つを合わせた『悪くなった』(49.1%)はほぼ5割となっている。



過去の調査結果と比較すると、『悪くなった』は平成22年から減少傾向となっている。一方、『良くなった』は前回(平成23年)に引き続いて1割を超えている。

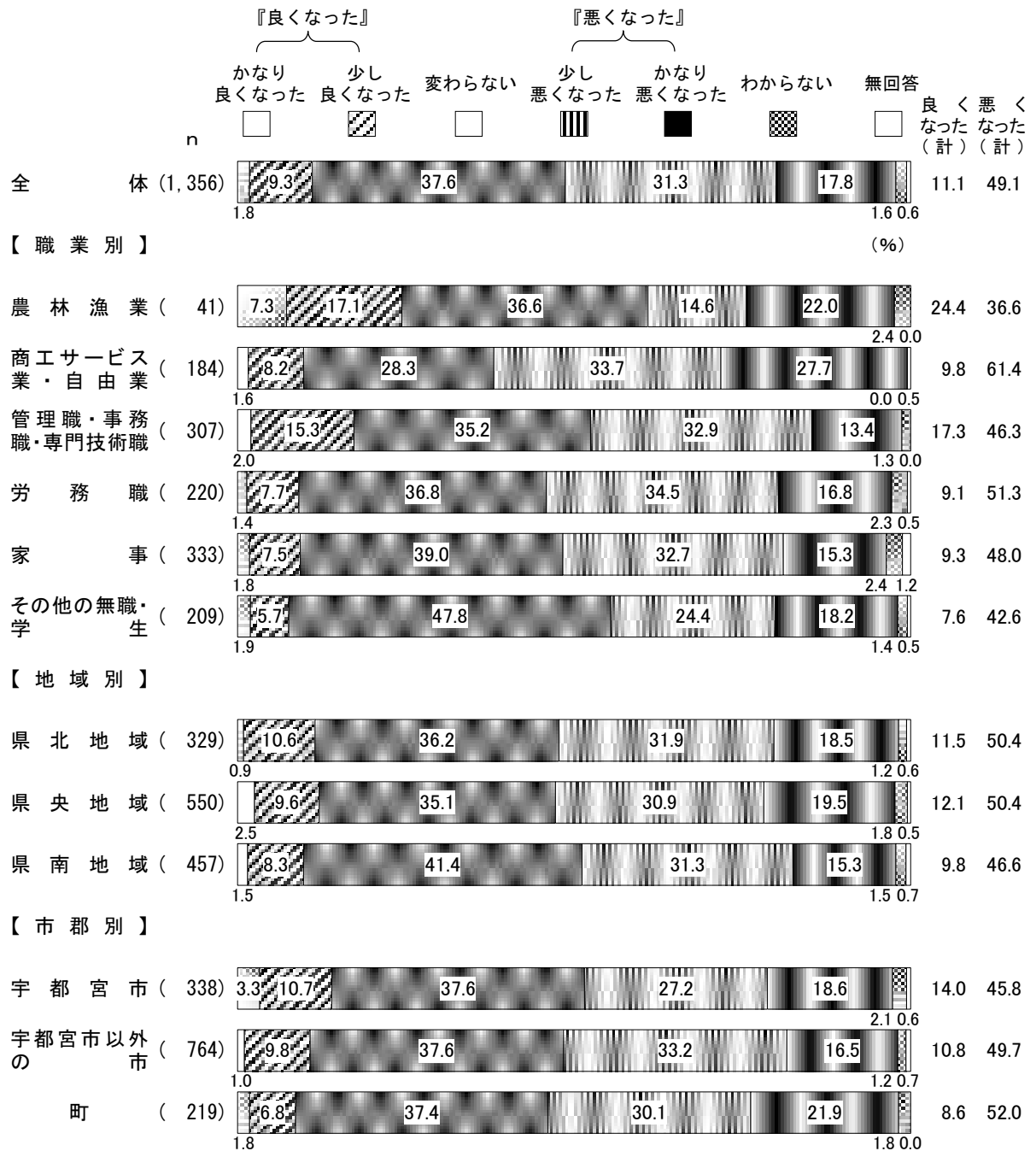
[性別・性／年齢別]



性別でみると、ほぼ同じ傾向になっている。

性／年齢別でみると、『良くなった』では〈男性 20 歳代〉(21.8%)、〈男性 30 歳代〉(21.5%)が他の世代に比べて高くなっている。一方、『悪くなった』では〈女性 60~64 歳〉が 62.7%、〈男性 50 歳代〉が 62.3%と高くなっている。「かなり悪くなった」では〈男女とも 40 歳代から 60~64 歳までの各年代〉が 2 割から 3 割近くと他の世代に比べて高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、『良くなった』では〈農林漁業〉が24.4%と他の職業に比べて高く、『悪くなった』では〈商工サービス業・自由業〉が61.4%と高くなっている。

市郡別でみると、『良くなった』では〈宇都宮市〉が14.0%と高く、『悪くなった』では〈町〉が52.0%と高くなっている。

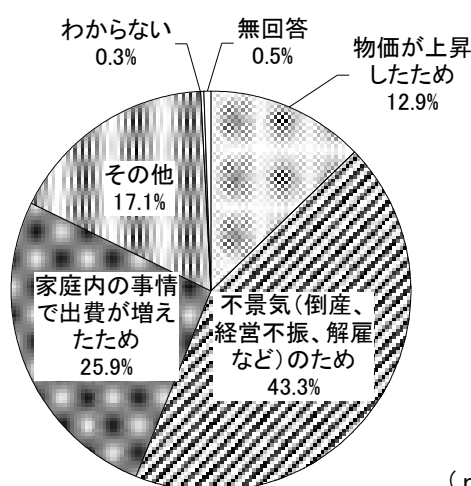
(1-1) 暮らしが悪くなった理由

(問1で「少し悪くなった」、「かなり悪くなった」を選んだ方のみお答えください)

問1-1 悪くなったのは、主にどのようなことからですか。もっとも大きな原因を1つ選んでください。

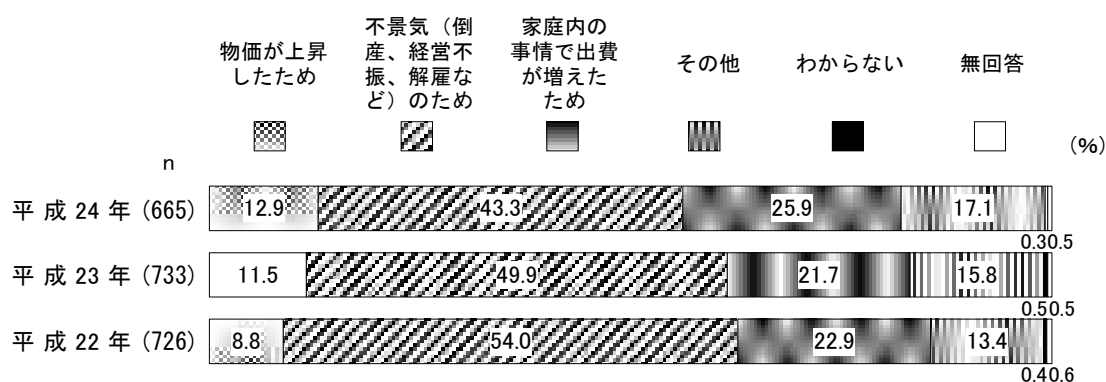
[n=665]

1	物価が上昇したため	12.9%
2	不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため	43.3%
3	家庭内の事情で出費が増えたため	25.9%
4	その他	17.1%
5	わからない	0.3%
	(無回答)	0.5%



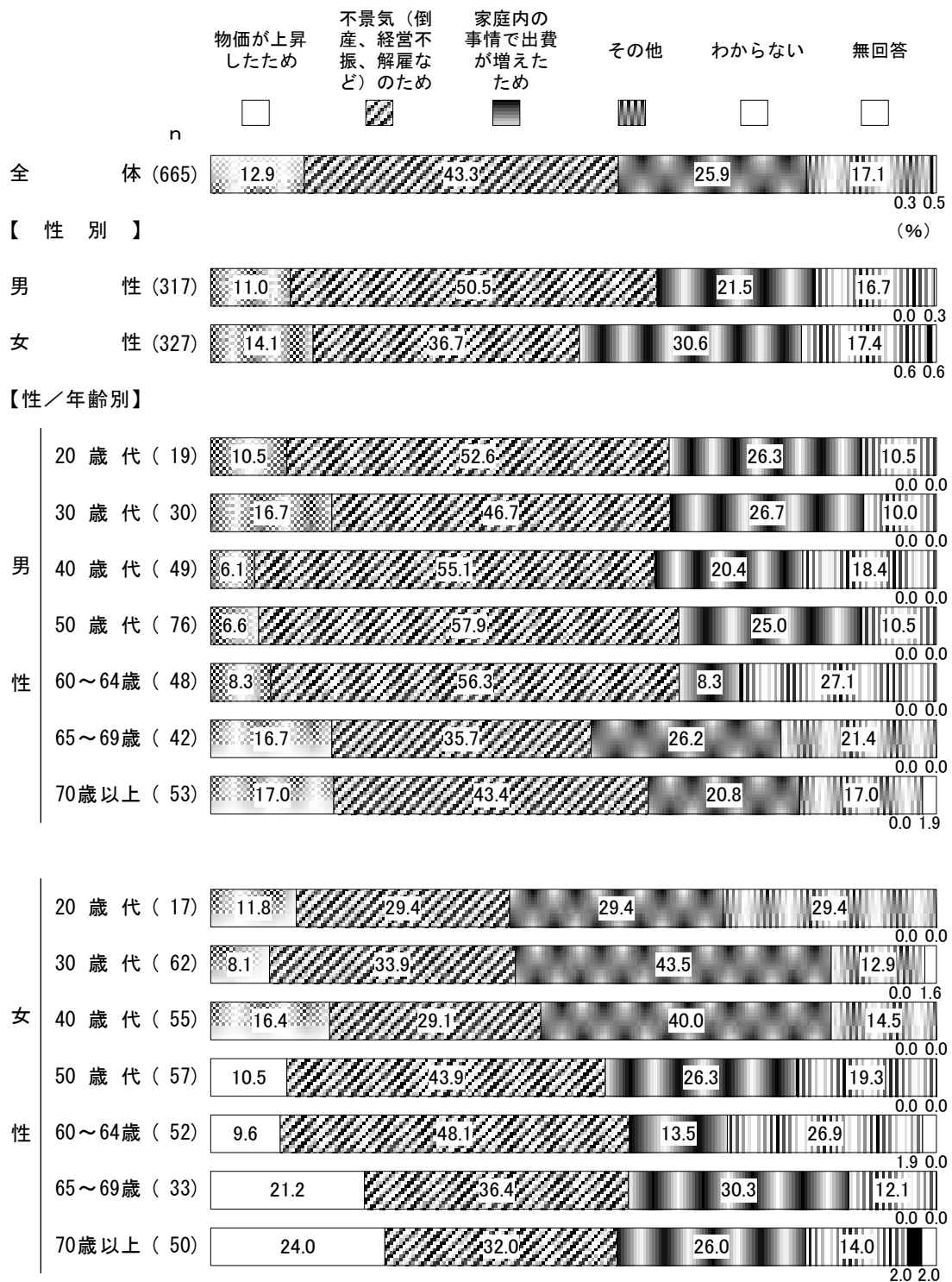
(n=665)

全体で見ると、「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」（43.3%）が4割を超えて最も高く、次いで「家庭内の事情で出費が増えたため」（25.9%）、「物価が上昇したため」（12.9%）の順となっている。



過去の調査結果と比較すると、「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」は減少傾向となっており、「家庭内の事情で出費が増えたため」と「物価が上昇したため」は前回（平成 23 年）と比べて増加している。

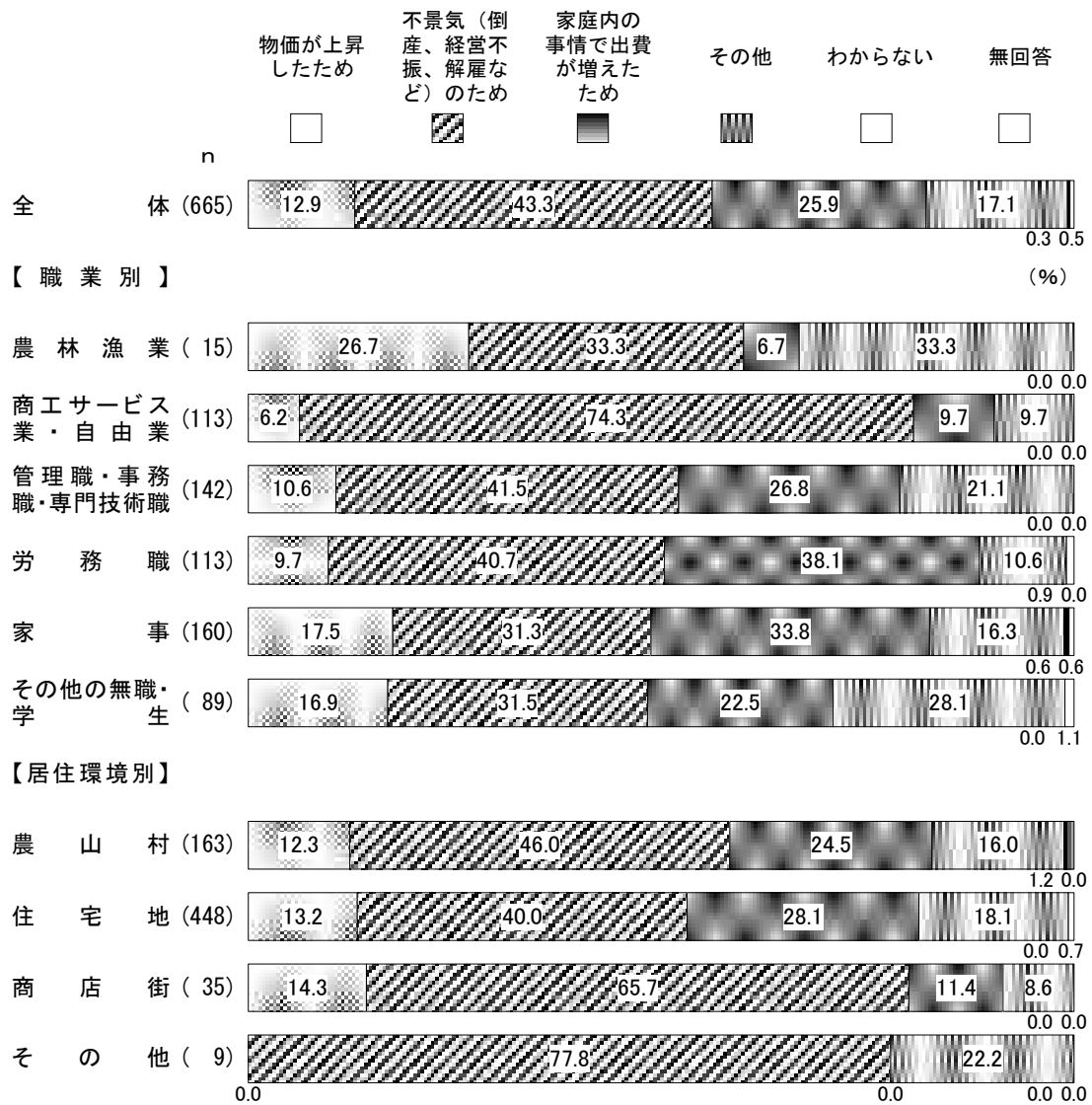
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」では〈男性〉（50.5%）が〈女性〉（36.7%）より13.8ポイント高く、「家庭内の事情で出費が増えたため」では〈女性〉（30.6%）が〈男性〉（21.5%）より9.1ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」では〈男性50歳代〉が57.9%、〈男性60～64歳〉が56.3%と高くなっている。「家庭内の事情で出費が増えたため」では〈女性30歳代〉が43.5%、〈女性40歳代〉が40.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別]



職業別でみると、「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」では〈商工サービス業・自由業〉が74.3%と高くなっている。「家庭内の事情で出費が増えたため」では〈労務職〉が38.1%と他の職業に比べて高く、「物価が上昇したため」では〈農林漁業〉が26.7%と高くなっている。

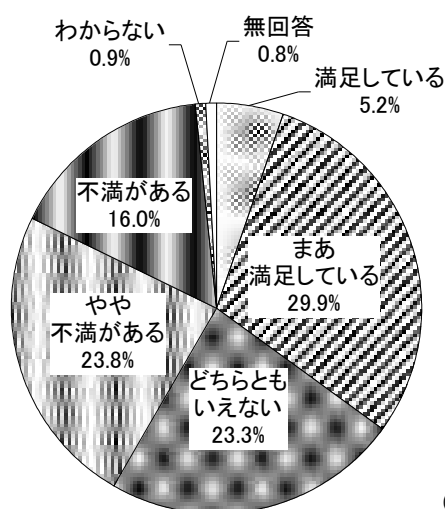
居住環境別でみると、「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」では〈商店街〉が65.7%と高くなっている。

(2) 暮らしの満足度

問2 あなたは、今の暮らしについてのどの程度満足していますか。次の中から1つ選んでください。

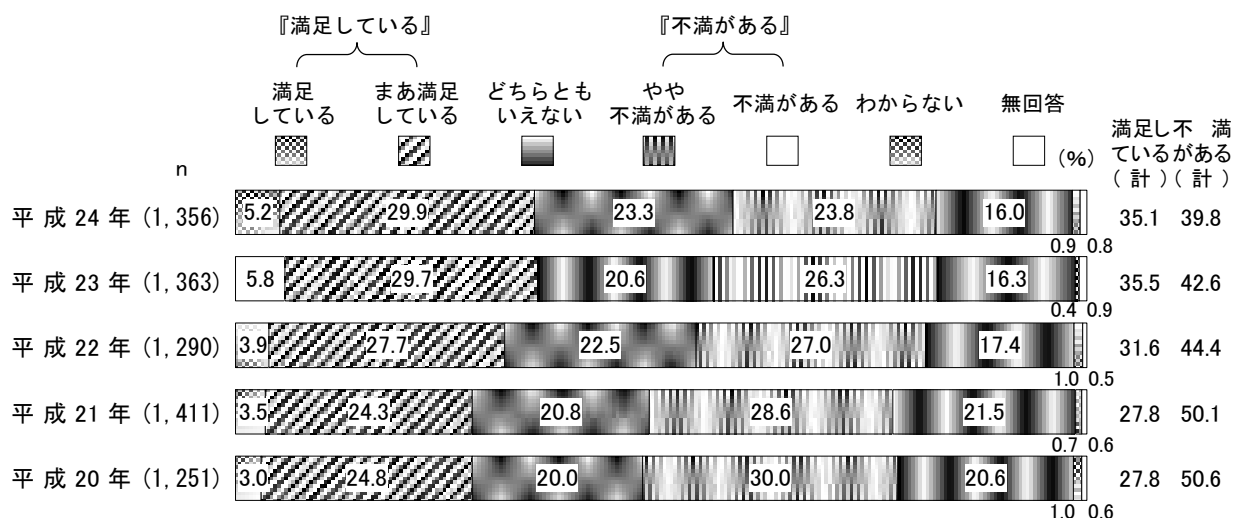
[n=1,356]

1	満足している	5.2%	4	やや不満がある	23.8%
2	まあ満足している	29.9%	5	不満がある	16.0%
3	どちらともいえない	23.3%	6	わからない	0.9%
				(無回答)	0.8%



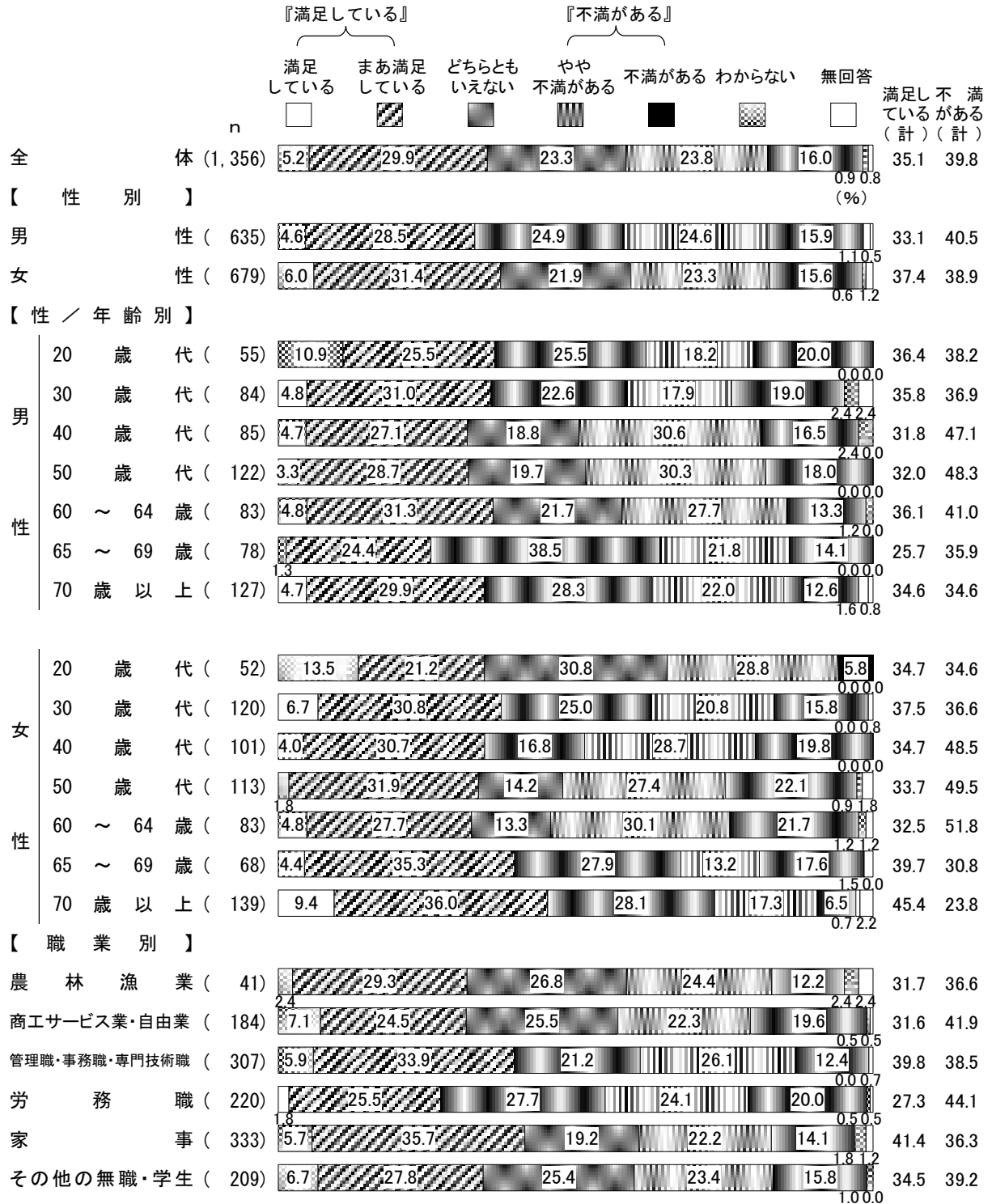
(n=1,356)

全体でみると、「満足している」(5.2%)と「まあ満足している」(29.9%)の2つを合わせた『満足している』(35.1%)は3割半ばとなっている。一方、「やや不満がある」(23.8%)と「不満がある」(16.0%)の2つを合わせた『不満がある』(39.8%)は4割となっている。



過去の調査結果と比較すると、『満足している』は前回(平成23年)とほぼ同じ割合となり、平成22年以前と比べて高くなっている。

【性別・性／年齢別・職業別】

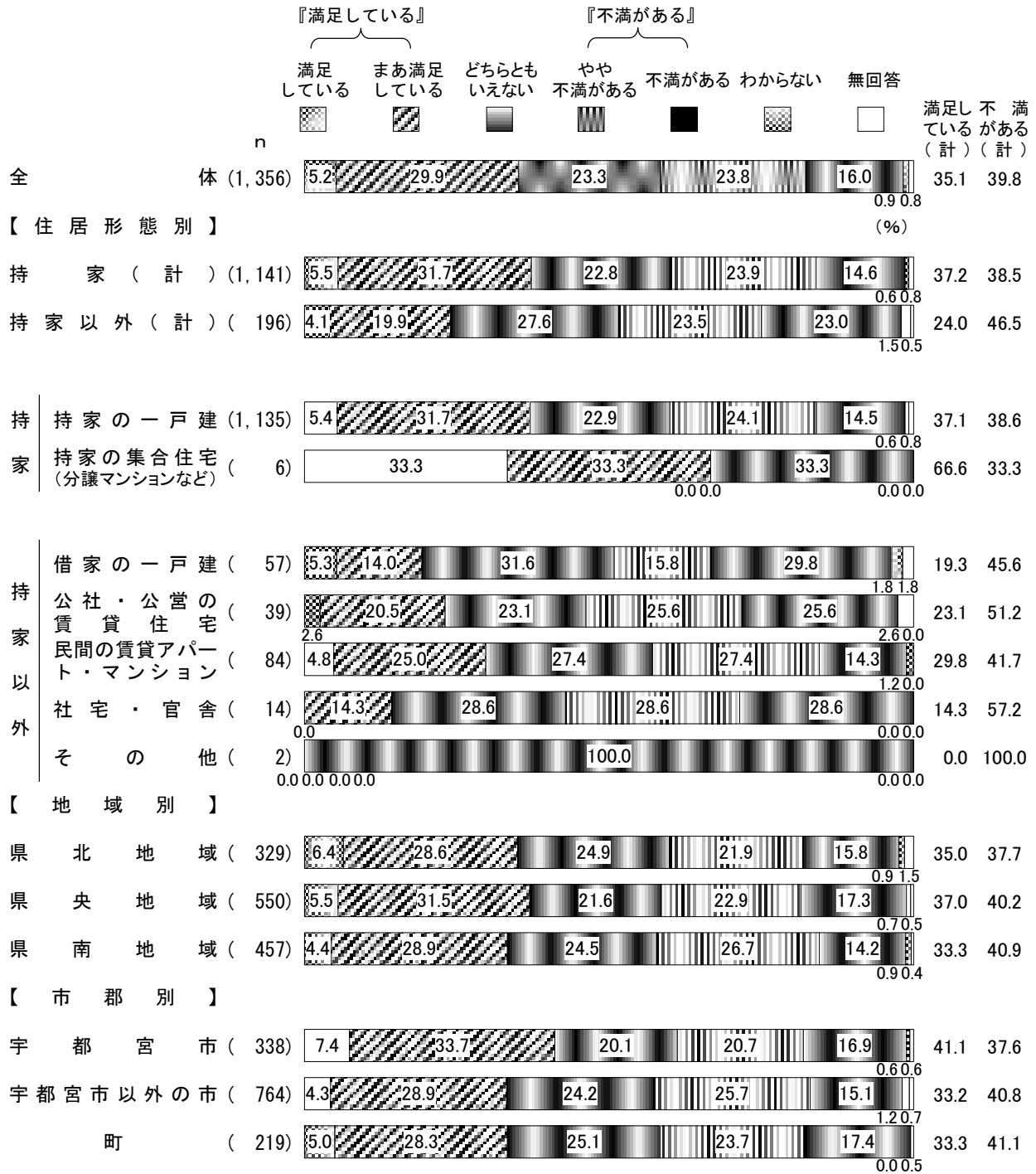


性別で見ると、『満足している』では〈女性〉(37.4%)が〈男性〉(33.1%)より4.3ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『満足している』では〈女性70歳以上〉が45.4%と高くなっている。『不満がある』では〈女性60～64歳〉が51.8%と高くなっている。

職業別で見ると、『満足している』では〈家事〉が41.4%と高くなっている。『不満がある』では〈労務職〉が44.1%と高くなっている。

【住居形態別・地域別・市郡別】



住居形態別で見ると、『満足している』では〈持家（計）〉（37.2%）が〈持家以外（計）〉（25.0%）より12.2ポイント高くなっている。

地域別で見ると、『満足している』では〈県央地域〉が37.0%と高くなっている。

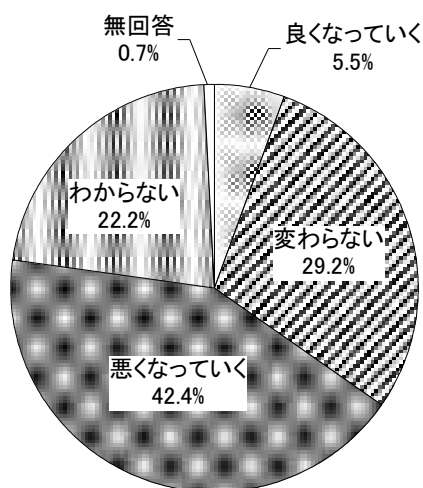
市郡別で見ると、『満足している』では〈宇都宮市〉が41.1%と4割を超え、宇都宮市以外の市や町より高くなっている。

(3) 今後の暮らしの状況

問3 あなたの暮らしは、これから先どうなっていくと思いますか。次の中から1つ選んでください。

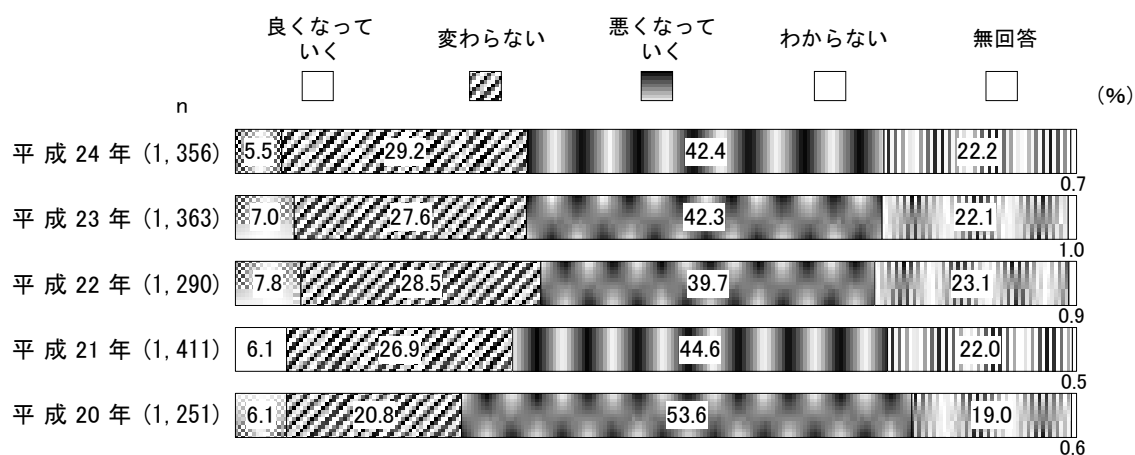
[n=1,356]

1	良くなっていく	5.5%	3	悪くなっていく	42.4%
2	変わらない	29.2%	4	わからない	22.2%
				(無回答)	0.7%



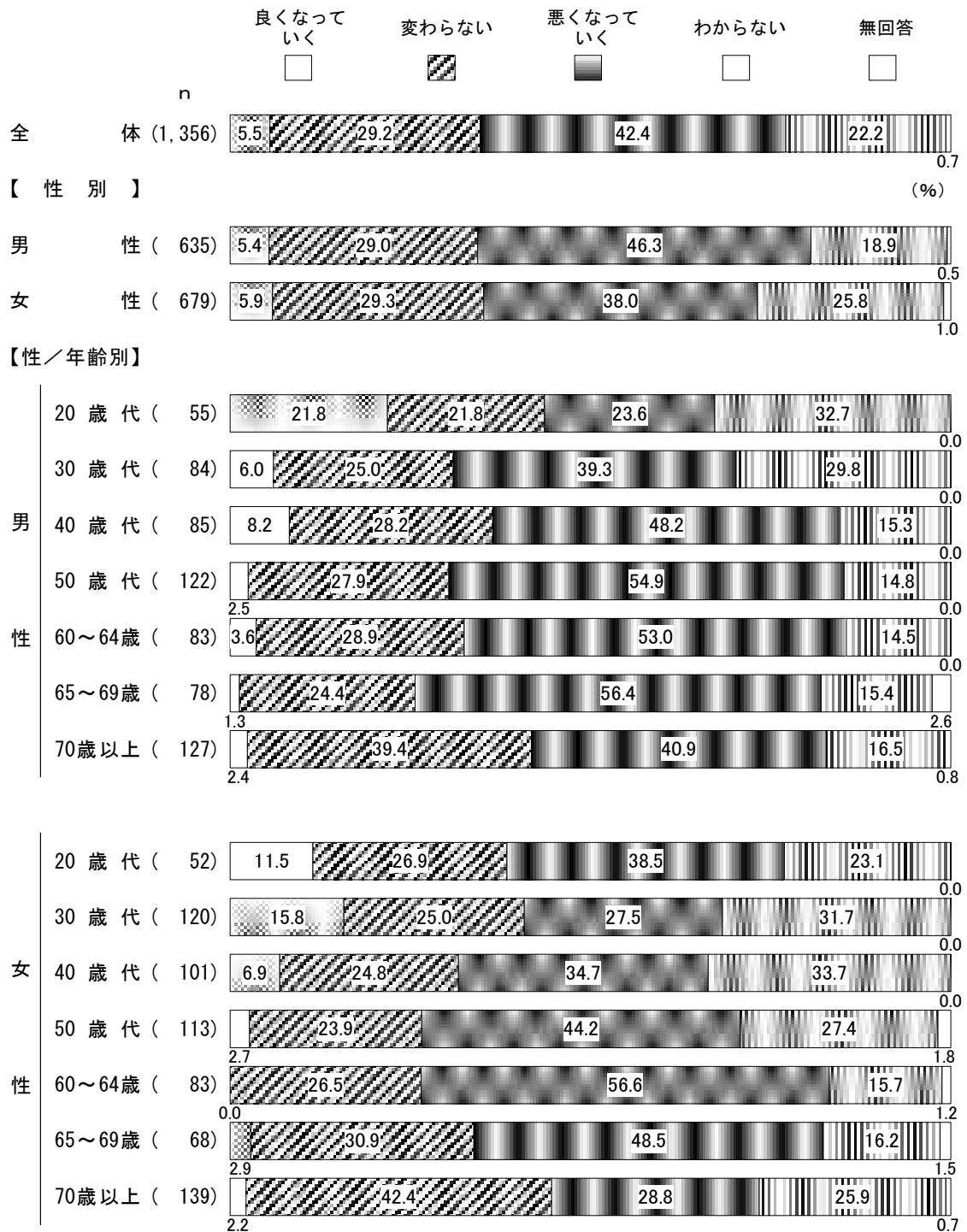
(n=1,356)

全体で見ると、「良くなっていく」(5.5%)は1割に満たない。一方、「悪くなっていく」(42.4%)が4割を超えている。「変わらない」(29.2%)はほぼ3割である。



過去の調査結果と比較すると、前回(平成23年)とほぼ同じ傾向になっている。

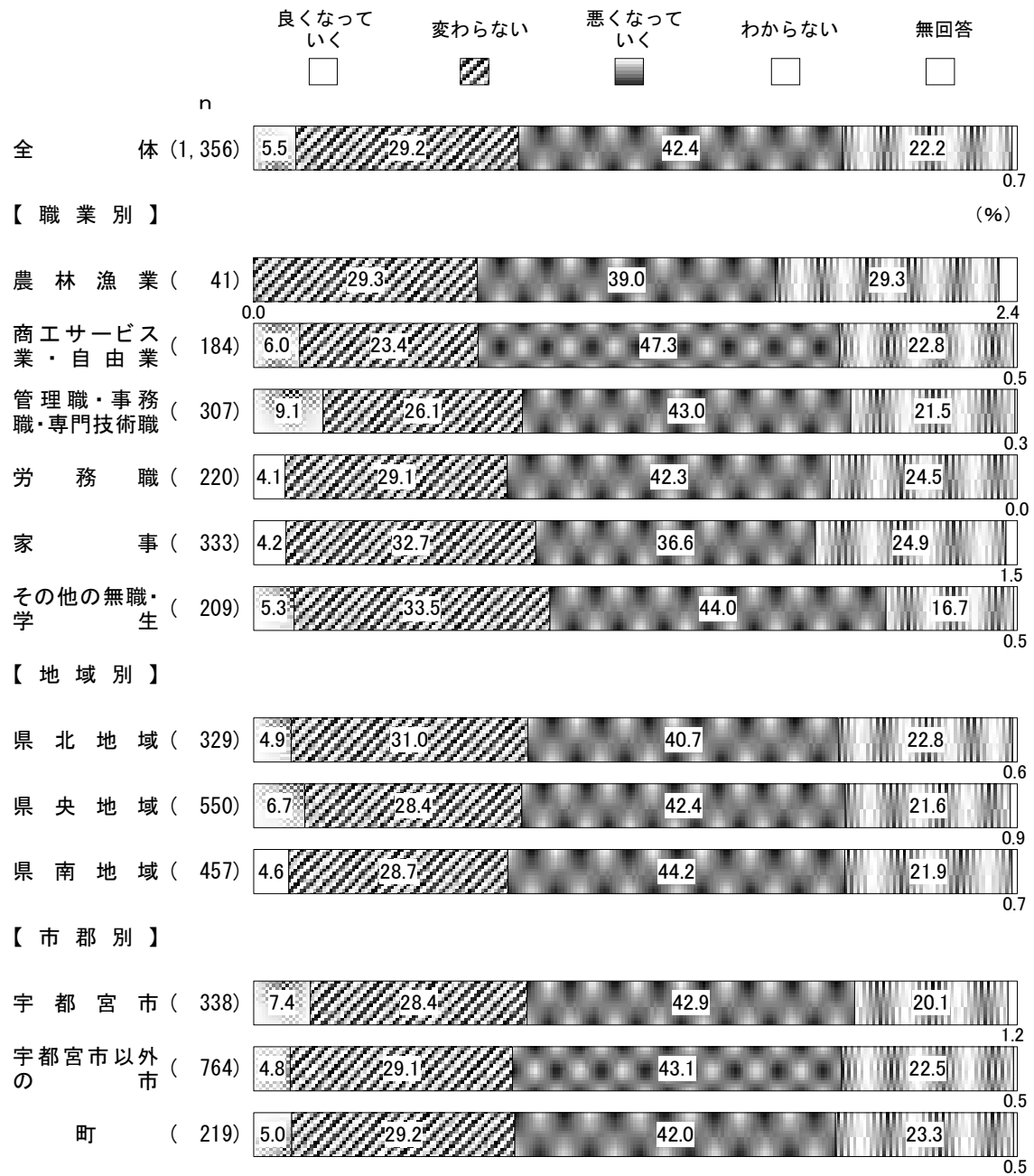
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「悪くなっていく」では〈男性〉(46.3%)が〈女性〉(38.0%)より8.3ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「良くなっていく」では〈男性20歳代〉が21.8%と他の年代に比べて高くなっている。「悪くなっていく」では〈男性の50歳代から65~69歳の各年代〉と〈女性60~64歳〉が5割以上と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「悪くなっていく」では〈商工サービス業・自由業〉が 47.3%と高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

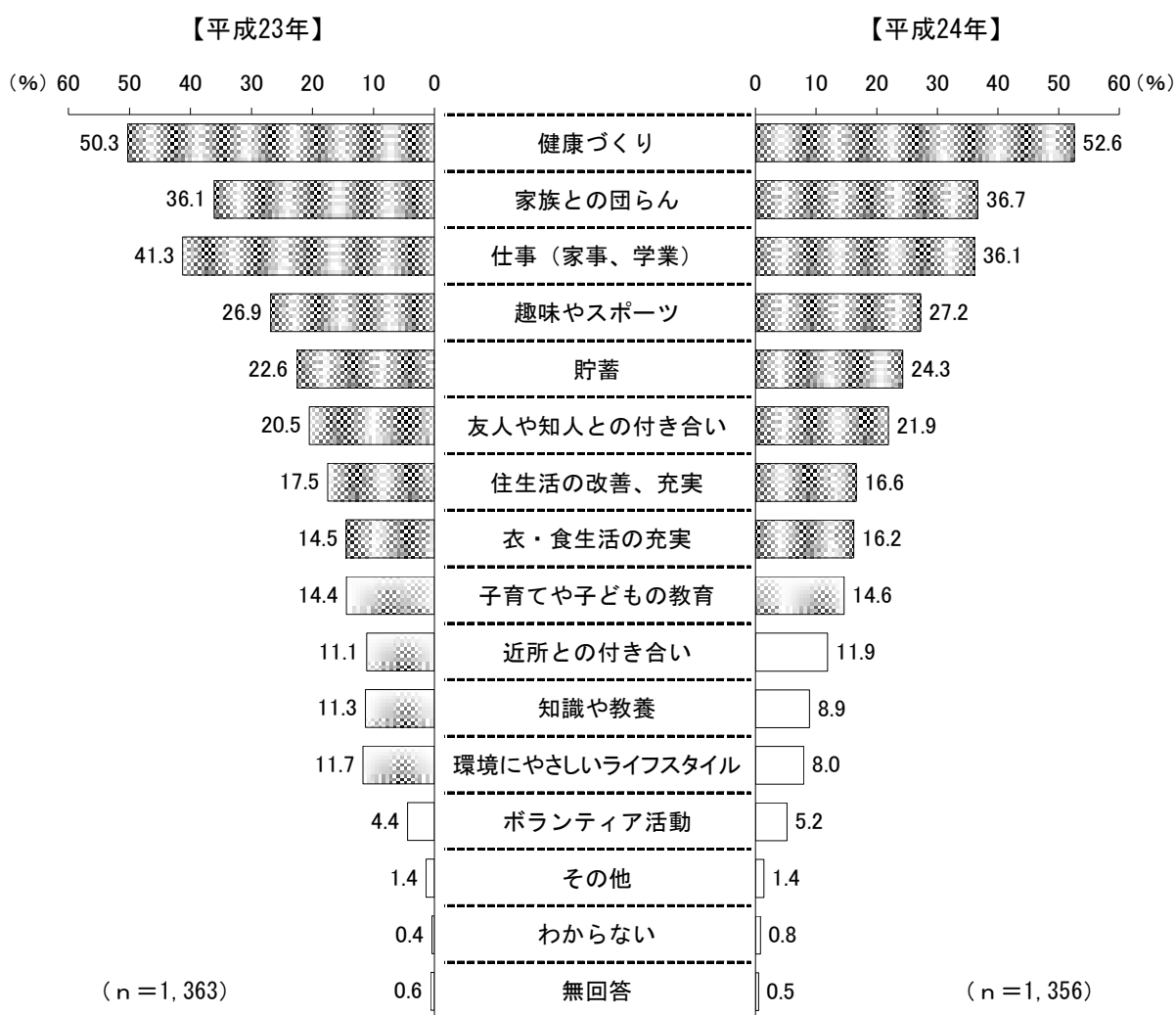
市郡別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(4) 今後の暮らしで力を入れる点

問4 あなたは、今後の暮らしの中で、どのような点に力を入れていきたいと思いますか。
次の中から3つまで選んでください。

[n=1,356]

1	仕事（家事、学業）	36.1%	9	家族との団らん	36.7%
2	知識や教養	8.9	10	近所との付き合い	11.9
3	貯蓄	24.3	11	友人や知人との付き合い	21.9
4	趣味やスポーツ	27.2	12	子育てや子どもの教育	14.6
5	ボランティア活動	5.2	13	健康づくり	52.6
6	衣・食生活の充実	16.2	14	その他	1.4
7	住生活の改善、充実	16.6	15	わからない	0.8
8	環境にやさしいライフスタイル	8.0		（無回答）	0.5

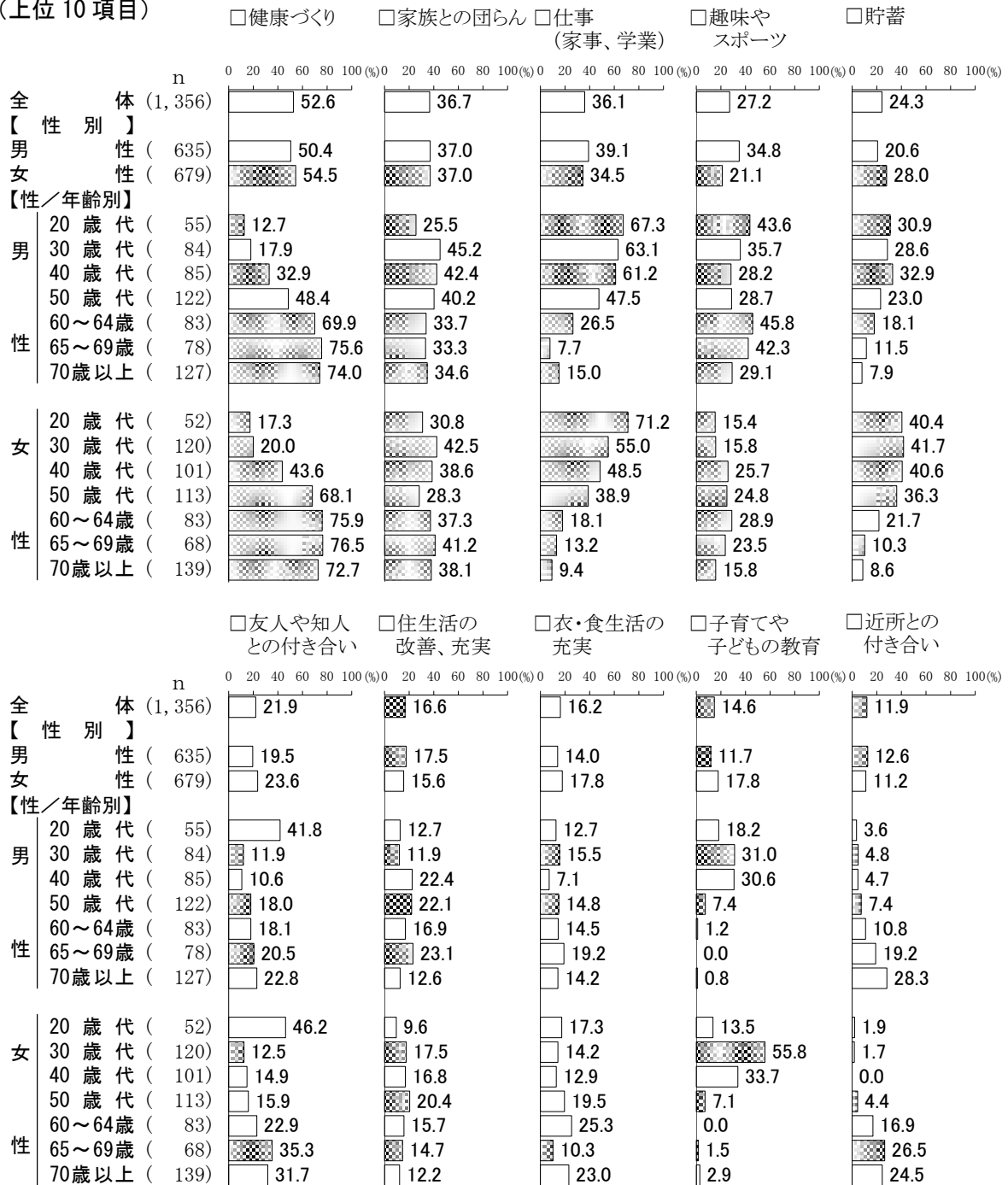


全体で見ると、「健康づくり」(52.6%)が5割を超えて最も高く、次いで「家族との団らん」(36.7%)、「仕事（家事、学業）」(36.1%)、「趣味やスポーツ」(27.2%)、「貯蓄」(24.3%)の順となっている。

前回（平成23年）の調査結果と比較すると、「仕事（家事、学業）」が5.2ポイント減少している。

[性別・性／年齢別]

(上位 10 項目)

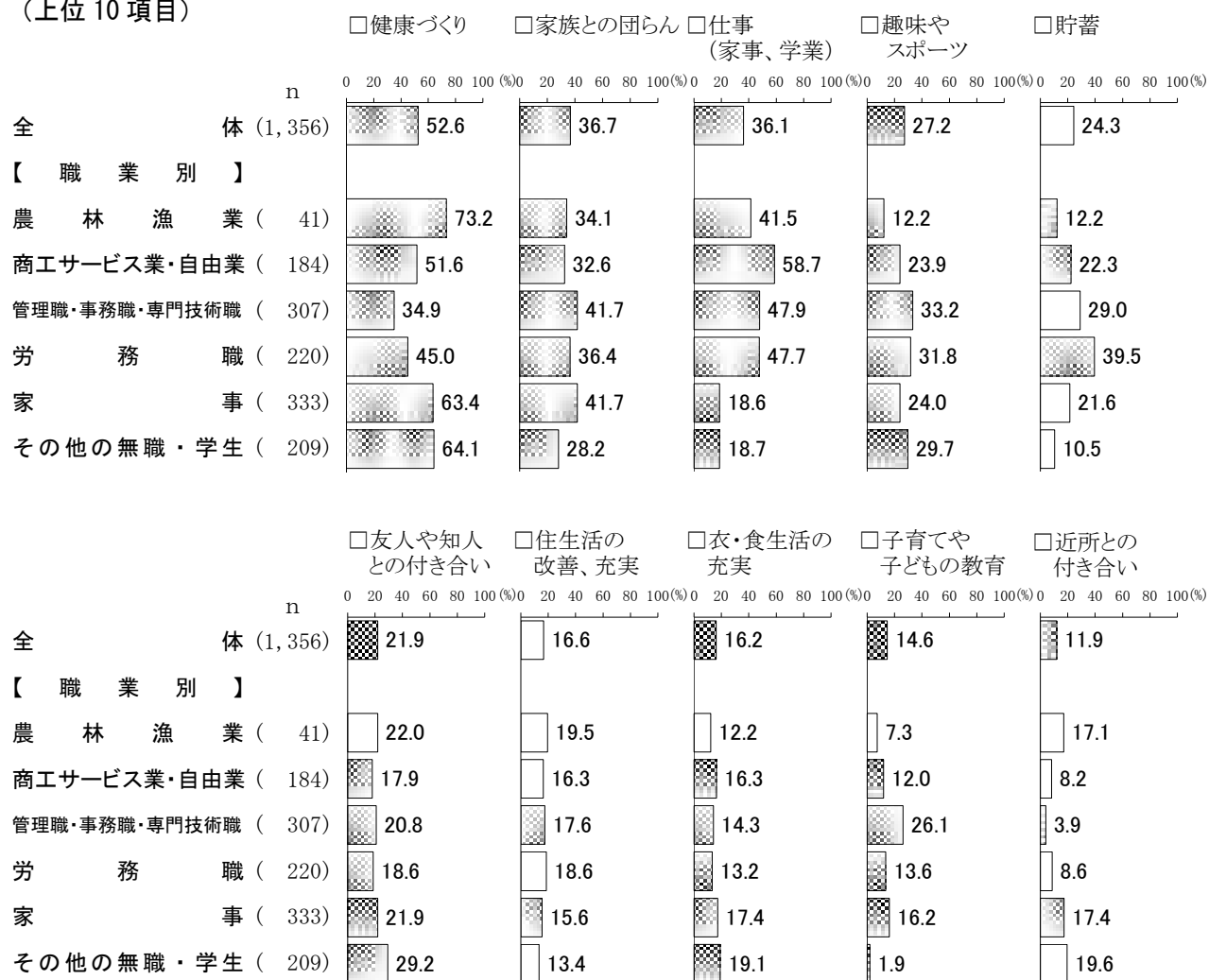


性別で見ると、「趣味やスポーツ」では〈男性〉(34.8%)が〈女性〉(21.1%)より13.7ポイント高くなっている。「貯蓄」では〈女性〉(28.0%)が〈男性〉(20.6%)より7.4ポイント、「子育てや子どもの教育」では〈女性〉(17.8%)が〈男性〉(11.1%)より6.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「健康づくり」では〈男性の65~69歳以上の各年代〉と〈女性の60~64歳以上の各年代〉で7割以上と高くなっている。「仕事(家事、学業)」では〈女性20歳代〉で71.2%、〈男性の20歳代から40歳代の各年代〉で6割以上と高く、「貯蓄」では〈女性の20歳代から40歳代の各年代〉で4割以上と高くなっている。「友人や知人との付き合い」は〈男女とも20歳代〉で4割以上と高く、「子育てや子どもの教育」では〈女性30歳代〉で55.8%と高くなっている。

[職業別]

(上位 10 項目)



職業別でみると、「健康づくり」では〈農林漁業〉が 73.2%、「仕事(家事、学業)」では〈商工サービス業・自由業〉が 58.7%、「貯蓄」では〈労務職〉が 39.5%、「子育てや子どもの教育」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が 26.1%と高くなっている。